

会 議 要 旨

会 議 名	令和４年度 第３回館山市コーラル会議
開 催 日	令和５年１月１８日（水）午後１時３０分～３時００分
開 催 場 所	館山市役所４号館 １階 期日前投票所
出 席 者	[委員(敬称略 ５０音順)]合計１０名（欠席 ２名） 青木 鉄弘 石井 敏宏 石渡 秀嗣 井田 友海 庄司 友之 鈴木 ひとみ 西村 勝利 羽山 敏雄 室 厚美 吉田 育世 [市] 森市長（途中退席） 中村危機管理部長、鈴木市民協働課長、和田副課長、吉田主事
公開・非公開の別	公 開
傍 聴 人 数	０名（定員３名）
会 議 内 容 議事進行 羽山会長	１．開会 ２．市長挨拶 ３．議事 （１）「第４期館山市男女共同参画推進プラン」の中間見直しについて 【事務局より】 ○中間見直し版の素案から原案への変更点の説明。 ・第２回会議後に、委員のご意見等を踏まえ、各担当課等に確認を行った結果、既に事業等として掲載されているものは反映せずに、今後も引き続き、取り組んでいくこととした。 ・第２回会議での委員からのご意見である、基本目標２ 課題１の文章中の結論付け「分かりました」を「伺えます」に表現を変更した。 ・市長交代に伴い、レイアウトを変更し、新たに森市長のことばを追加する。 ・３「プランの期間」へ主な見直し箇所の一覧を掲載した。 ○資料編についての説明。 ・中間見直し版の経過、第１２期コーラル会議委員名簿を追加した。その他、条例・要綱・法律を最新情報へ更新した。 【ご意見・ご質問】 ●町内会の女性役員を増やす働きかけを市から町内会連合協議会にしても良いのではないかと。 ⇒令和３年度から全自治組織に対し、「役員改選の際、女性の適任者がいる場合は積極的な登用にご配慮」いただけるよう文書で依頼している。また、町内会連合協議会にも周知を行っている。

- 男性委員が少数の場合も、男女平等ではなく女性優遇になってしまう。男性が少数の分野に男性を増やすのも『男女共同参画』だと思う。
- ⇒男女平等は同数が理想的だが、女性が少ない分野も多いため、女性委員の割合を増やす努力を継続するが、性別に関係なく、活躍できる社会を目指す。次期プラン策定時に、男性委員の割合について研究する。
- 第2回会議での意見が次回の改訂で反映されるよう、申し送りをお願いする。
- ⇒コーラル会議でいただいた貴重なご意見等は、次期プラン策定のため引き継ぐ。
- 女性が役割分担意識に縛られず発言できる場の方策が必要である。女性リーダーの割合の増加も必要だが、女性の発想や感性を取り入れる仕組みも必要である。
- ⇒女性の割合を増やすことで、女性の意見をより取り入れやすい社会を目指す。
- 男女共同参画や女性問題の学習会が、前回のアンケートと比べ、減少している。家庭生活上で互いを理解して共有し合う関係が必要なため、学習会も必要である。
- ⇒次期プラン策定時に実施予定の市民意識調査で、地域活動への参画状況の割合が伸びるよう、各種事業に取り組む。
- 市広報紙の『相談案内』について、相談先案内の市民生活を目立たせたらどうか。
- ⇒市広報紙のレイアウトは秘書広報課が担当している。市民相談室は市民課に所属し、週2回の相談で、相談員が不在の日もある。現状は担当課で話を聞き、案件が他の部署の内容であれば横の連携で繋いでいる。
- 市広報紙の『相談案内』について、DVはスピード感が重要。相談時間外でも連絡がつくフリーダイヤルを載せると、相談者も助かる。
- ⇒DV担当の社会福祉課に伝える。
- 『第4期館山市男女共同参画推進プラン』はどれくらい印刷し、どこへ配ったのか。
- ⇒策定時を含め、多くの場所には配っていない。基本的にインターネットで見えていただく形を取り、公共施設でも閲覧できるよう1部置いている。
- 現時点で企業に『第4期館山市男女共同参画推進プラン』を配ったり、働きかけをしているか。
- ⇒市民協働課、雇用商工課等それぞれの担当部署で企業に対する事業はあるが、個々の企業には配布していない。HPに掲載したものを新聞、SNS等を通じて周知し、閲覧してもらう形をとる。
- 企業等への周知も大切。中間見直しでどこを変えたか分かるものがあると良い。
- ⇒パブリックコメントを行う際、より詳しい見直しリストを合わせて公表する。
- 『男女共同参画』は女性優遇という観念を持つ人がいるのも現実。認識不足があるので、どのように周知していくのかも課題である。
- 民間等は、ワンストップ窓口になりつつある。市民サービスとして分かり易い。
- 『第4期館山市男女共同参画推進プラン』に掲載された事業は、具体的に何をしているか分からない。一例も入れた方が良い。
- ⇒計画は5年、10年とかなり長く、事業内容はその年度で計画しているため、

詳細は掲載できない。代わりに第1回会議でご報告したとおり毎年度取組状況を調査しているが、現状では、取組状況は公表しておらず、今後公表するか検討する。

●企業に対する働きかけについて、次期プラン策定時に検討してほしい。

⇒商工会議所に対し、企業に『第4期館山市男女共同参画推進プラン』等を提供しつつ、男性が育児休業を取得できるような環境を作る働きかけをできないかアプローチしていきたい。商工会議所とは『男女共同参画』に関して情報共有をあまりしてこなかったため、様々な視点から『男女共同参画』を考えてもらえるよう依頼すれば、市内の加盟している企業には商工会議所から伝わっていくものと考ええる。

●勉強会に参加した企業をHPに載せたり、館山市認定等できれば企業は『男女共同参画に前向きである』ということがPRできる。企業を動かせる活動があれば面白い。

●『男女共同参画』を企業に広める場合、NPOや人権を取り扱う法人等に、市から委託して協力できないか。

⇒現時点でそういった団体を把握していないが、今後に期待する。仮にそういった団体があれば広く周知できる。

●女性職員が将来管理職になりたいと思えるような“働き方改革”が必要である。

⇒“働きやすい職場づくり”に重点を置いた上で、管理監督職が職務に取り組む姿を若手に見せていきたい。このことは部長会議の情報交換の場で話をしたい。

4. その他

【事務局より】

・第2回会議で委員からご意見いただいた市の相談窓口については、相談内容ごとに担当が異なるものの、一つの窓口で話を聞けるよう部長会議で問題提起した。市広報紙の中の各種相談案内で担当が明記されたものもあるが、該当しないような複雑な相談もあるので、相談者が負担のないような形で相談できるよう、意識づけをはかった。

・内閣府で、令和5年度「男女共同参画週間」キャッチフレーズを募集している。

・2月8日頃から2月末日までパブリックコメントを行い、その後、3月中旬ごろに会長、副会長から市長に対し答申を行う予定で進める。

・千葉県男女共同参画南房総地域推進員寸劇事業は、11月22日（金）に、鋸南町立鋸南中学校の生徒約120名を対象に行った。

【ご意見・ご質問】

●寸劇事業について、生徒がどう思ったか聞いた際に、育った環境で反応が違っていると感じた。「こういったことが男女共同参画になるのか」と中学生から直接の意見を伺え、寸劇を通して色々なパターンを学んでもらえて良かった。

●コーラル会議委員で寸劇をし、市内の多くの子どもたちに見てほしい。

5. 閉会